

平成24年度 総務部長表彰（佳作）提案

1 県の施策に関する提案

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">テーマ：朝日トンネル開通を見据えた魅力あるフラワーパークを目指して</div> 「愛を。大切なひとへ」薔薇がほほ笑むフラワーパーク 提案者：県立医療大学 主任 鈴木 祐子	
提 案 内 容	表 彰 理 由
フラワーパークに「バラのテーマパーク」としての新たな魅力を付加する。 茨城県立フラワーパークといえ、県花でもあるバラの名所として有名である。 花ことばに「愛・美・情熱・熱烈な恋・あなたを愛します」などを持つバラと結び付けて、カップル向けにてこ入れする。 (例) ・「想いの鐘」→二人で鳴らすと「両想いの鐘」 ・「(施設名)で〇〇すると結ばれる」という噂が？ ・パートナーを気遣って、「休憩所」でひとやすみ。 ・レストランのカップルシートでランチをどうぞ。 ・お帰り際には、告白用のバラグッズを。 ・おうちに帰ったら、バラの入浴剤やローズティーで余韻を楽しみましょう。おやすみなさい。	フラワーパークの来園者は40代以上の女性の割合が高いことから、現在進めるリニューアル計画においても「若い世代への魅力付け」が位置づけられており、今後の運営に参考となる提案である。

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">テーマ：20代献血率の向上策</div> 県庁本庁舎内に「献血ルーム」の開設 提案者：林業課 係長 齋藤 靖弘	
提 案 内 容	表 彰 理 由
献血者数、献血率とも向上させるため、県庁本庁舎の来庁者が利用しやすい場所に県内4カ所目となる献血ルームを開設する。 (開設する効果) ・献血数の増加が見込まれる 高校生等の来庁も多く、若年層の献血率向上も期待 ・福祉に厚い県としてアピールできる 県庁本庁舎内への献血ルームの開設は全国初であり、福祉立県として他県にもPRできる。 ・職員の健康管理に役立つ 血液の検査も実施できることから、生活習慣病の予防・早期発見につながる。 ・県の財政に寄与できる 献血ルームの開設は日赤で行うため県では経費負担はない。また、庁舎の有効利用が図られる。	県庁舎内に献血ルームの開設は全国初であり、また、設置主体は日本赤十字社であるため、経費負担を伴わずに大きなPR効果が期待できる提案である。 なお、提案の実現には、安定的な献血者の確保が必要なことから、常設ではなく一定の頻度での開設などの方法も検討・調整することが必要であると考えられる。

2 事務改善・県民サービスの改善に関する提案

出先機関における郵便物発送事務の省力化	
提案者：福祉相談センター 係長 大内 勝雪	
提案内容	表彰理由
<p>Excelにより、大量の郵便物の発送とりまとめの事務を短時間で効率的に処理できる『「後納郵便物等差出票」かんたん作成ツール』を自己開発。大幅なスピードアップと精度の向上が図られ、取りまとめ後に突発的に発生する追加発送依頼に対しても、柔軟な対応を可能とした。</p> <p>(ツールの概要)</p> <ul style="list-style-type: none">・必要項目を入力して印刷ボタンを押すだけで、「後納郵便物等差出票」を一発作成。・定形・定形外郵便・通常はがき、ゆうメール、一般ゆうパック料金を検索可能。・県内の他の公所でも利用可能。	<p>発送集計業務や後納郵便物等差出票の作成が迅速化・省力化されるとともに料金単価のより正確な算定を可能としている。</p> <p>料金単価の変更等によるメンテナンスなどシステムに精通した職員が必要とはなるが、郵便物の発送件数が多い出先機関においては一定の効果が期待できる提案である。</p>